



サービス説明書

VMware Horizon™ Air®

最終更新日： 2016 年 2 月 1 日

© 2014-2016 VMware, Inc. All rights reserved. 本製品は、米国および国際的な著作権法および知的財産法によって保護されています。本製品は、<http://www.vmware.com/download/patents.html> のリストに表示されている 1 件または複数の特許の対象です。

VMware は、米国および / またはその他の法域における VMware, Inc. の登録商標または商標です。本書に記載される他のすべての商標および名称は、それぞれの企業の商標です。

本サービス説明書（以下「本サービス説明書」）に定める条件は、VMware Horizon Air（以下「本サービス提供」）に適用されます。「VMware」、「当社は」または「当社に」とは、お客様が米国で本サービス提供を購入する場合は、デラウェア州法人である VMware, Inc. を、お客様が米国以外で本サービス提供を購入する場合は、アイルランド法に基づき設立され存続する会社である VMware International Limited を意味します。

サービス説明書の英語以外の翻訳版は便宜のために提供されており、本サービス説明書は英語版によって規制されます。

VMware, Inc. 3401
Hillview Ave.

Palo Alto, CA 94304

目次

1.	はじめに	4
1.1	サービス ポータル	6
1.2	追加情報	6
2.	サービス業務	6
2.1	サービス サポート	6
2.2	サービス プロビジョニング	7
2.3	ディザスタ回避およびディザスタ リカバリ	7
2.4	監視	8
2.5	インシデントおよび問題管理	8
2.6	変更管理	9
2.7	セキュリティ	9
2.8	ゴールド パターン テンプレート	10
2.9	テンプレート アップロード	10
3.	事業活動	11
3.1	注文及び請求	11
3.2	メーター制の使用	12
3.3	アドオン容量	12
3.4	更新	12
3.5	停止及び再使用可能性	13
3.6	契約解除	13
3.7	契約の中途解除	14
付録 A - 注文及びメーター制使用のコンポーネント		15
付録 B - Horizon Air に含まれる個別購入可能な品目の概要		18
付録 C - Horizon Air ゲスト OS 互換性表		19
付録 D - Microsoft ライセンス推奨事項		19

1. はじめに

VMware Horizon™ Air®（「Horizon Air」または「サービス提供」）は、VMware によるクラウド サービスのファミリーであり、デバイスの種類や場所を問わずに、仮想デスクトップ、アプリケーション、デスクトップ ディザスタリカバリの能力をエンド ユーザーに提供することができます。VMware Horizon Air は、次の 3 つの異なるサービスを提供します： Horizon Air Desktops、Horizon Air Apps、Horizon Air Desktop DR。

スタンダード サービス モデルのオプション

Horizon Air スタンダード サービスにより、お客様は、1 か月、12 か月、24 か月、36 か月のサブスクリプション期間に基づき Horizon Air Desktops および Horizon Air Apps の容量を購入することができ、さらに Horizon Air Business Starter Bundle も購入することができます。サブスクリプション期間中、お客様はいつでも、サブスクリプションを通じて購入した最大で全容量までのデスクトップおよびホスト型アプリ VM をプロビジョニングすることができます。例えば、12 か月の期間に基づき 100 のスタンダード サービス デスクトップ サブスクリプションを購入したお客様は、その 12 か月の期間中いつでも、1 ~ 100 のスタンダード デスクトップ VM をプロビジョニングすることができます。

スタンダード サービス Horizon Air Desktops および Horizon Air Apps では、5 つの主なサービス モデルの選択肢が利用可能です。

- **スタンダード デスクトップ**は、1 vCPU、2 GB vRAM、30 GB HD を提供します。
- **アドバンスド デスクトップ**は、2 vCPU、4 GB vRAM、60 GB HD およびエンド ユーザー向け Soft3D のメリットを提供します。
- **エンタープライズ デスクトップ**は、4 vCPU、8 GB vRAM、120 GB HD およびエンド ユーザー向け Soft3D のメリットを提供します。
- **エンタープライズ プラス デスクトップ**では、8 vCPU、16 GB vRAM、240 GB HD およびエンド ユーザー向け Soft3D のメリットを提供します。
- **ホスト型アプリ サーバ**は、8 vCPU、16 GB vRAM、240 GB HD およびエンド ユーザー向けターミナル サービスおよび公開アプリケーションのメリットを提供します。

すべての仮想マシン OS ライセンスおよび使用（Windows クライアントまたは サーバ OS など）に関して、お客様は、Microsoft ライセンス ディストリビューターを通じて購入した自身のライセンスを使用しなければなりません。サポート対象のゲスト OS および Microsoft ライセンス ガイダンスに関する詳細については付録 C および D をご覧ください。

サービス提供にアクセスするためのデスクトップおよびモバイル クライアントの使用は、個別ライセンス条件に準拠します。

すべてのスタンダード サービスのオプションは、仮想デスクトップおよびホスト型アプリケーションの雛形として使用するための 10 のゴールド パターン テンプレートを含みます。お客様は、デスクトップ モデルの数を、同じハード ディスク サイズのゴールド パターン テンプレートへの追加として転換することができます。例えば、15 のゴールド パターン テンプレートが必要とする場合、5 つのスタンダード デスクトップ モデルを、5 つの 30 GB のハード ディスク サイズのゴールド パターン テンプレートに転換することができます。

さらにお客様は、必要に応じて、仮想デスクトップやサーバ全体、ゴールド パターン テンプレート保存領域に割り当てることができる 1 TB 単位の追加ハード ディスク ストレージを購入することができます。

すべてのスタンダード サービスのオプションは、VMware HA の専用コンピューティング サーバ、ワーク ロード トラフィック分離のためのレイヤー 2 ネットワーク分離、専用ストレージ容量、専用デスクトップ管理インスタンスでデフォルトにより展開されます。各サービス インスタンスは、VPN レス リモート アクセスのためのパブリック IP アドレスにより展開されます。デスクトップおよび公開アプリケーションは、VMware Horizon View クライアントから直接、または View Client、およびクライアント レス HTML5（Horizon View Blast Protocol）を介して Horizon Air Desktop ポータルからアクセスできます。

Horizon Air Desktop DR の予約容量 SLA のオプション

12 か月以上の期間の Horizon Air Desktop のお客様は、Horizon Air Desktop DR サービスを利用し、VM 容量へのアクセスを予約することができます。このアドオン オプションは、容量のための保証付きフルフィルメント ウィンドウと幅広いコスト / SLA 選択肢により究極の柔軟性を提供します。Desktop DR、または、限定及びリード タイプを限定しない一般的なバースト能力を必要とするお客様は、このオプションを検討すべきです。

予約容量は、アドオンとして購入され、お客様が選択したプランに基づき請求されます。お客様は、スタンダード サービスを備えた Horizon Air データセンターで DR 容量を購入することができます。一旦購入すると、期間中いつでも、お客様は予約容量またはその一部を要請し、使用した容量につきメーター制日額使用料金を支払うことができます。各使用要請について、お客様は、最低 7 日分の使用を確保し、その後いつでも容量を無効化することができます。お客様は、容量を無効化する際には、標準非緊急サポート依頼書を提出することにより、VMware に通知しなければなりません。

Horizon Air Desktop DR は、様々なフルフィルメント時間を持つ 3 層の SLA を提供します。

- **ゴールド** (8 時間)
- **シルバー** (24 時間)
- **ブロンズ** (72 時間)

お客様は、エンド ユーザーの優先事項に最善に対応するために、デスクトップ モデルと SLA 層を混合し、調和させることができます。VMware は常に、最上位層 (ゴールド) から最下位層 (ブロンズ) までの特定の VM モデル向けに予約容量を有効化します。各プランのフルフィルメント時間は、容量有効化要請が VMware になされた時点から計数されます。

サービス オブジェクト

すべてのサービス提供は、これらのオブジェクトにアクセスする能力を含みます。

- **ドメイン バインド**は、Active Directory、管理者の役割および許可、エンド ユーザー グループを設定するために Horizon Air 管理コンソールを通じて管理することができます。
- **ゴールド パターン テンプレート**も、Horizon Air 管理コンソールを通じて管理ことができ、展開される仮想マシンの雛形として使用されます。
- **デスクトップ プール**は、VM、リモート デスクトップ セッション ホスト (RDSH) 公開デスクトップ、RDS 公開アプリケーションのグルーピング オブジェクトです。プールは、VM を作成する際にどのデスクトップ モデル、ゴールド パターン、デスクトップ タイプ、その他のポリシーを適用するかを指定します。デスクトップ VM はプールの一部のみとして作成することができます。
- **仮想マシン (VM)** はエンド ユーザーによりアクセスされるデスクトップです。
- **RDSH 公開デスクトップ (セッション)** は、エンド ユーザーによりアクセスされるホスト型 RDSH サーバ上で稼働する公開デスクトップです。
- **RDSH 公開アプリ (アプリ)** は、エンド ユーザーによりアクセスされるホスト型 RDSH サーバ上で稼働する公開アプリケーションです。
- **予約容量 (SLA)** は、選択されたプランに基づき合意されたフルフィルメント時間枠の下で追加 VM を注文するオプションです。

1.1 サービス ポータル

セルフ サービス ポータル

サービスには 3 つのセルフ サービス コンソールが含まれます。

- **My VMware アカウント管理コンソール (以下「My VMware™」)** は、単一アカウントの下にあるすべての VMware 製品ライセンスおよびサポートのサブスクリプション ステータス、統合ナビゲーション、閲覧および管理へのアクセスを提供します。
- **VMware Horizon Air 管理コンソール (以下「コンソール」)** は、同一サインオンの下でのドメイン バインド、ゴールド パターン管理、デスクトップ プロビジョニング、エンド ユーザー エンタイトルメント、多要素認証などの VMware から購入した Horizon Air の消費および管理のための基本インターフェイスです。管理コンソール は、次の 2 つの別個のポータルから構成されています： (1) 2015 年 6 月に新規発売となった新たな「管理コンソール」、(2) 次の主要リリース日に廃止される予定であるレガシー Enterprise Center Web ポータル。
- **VMware Horizon Air デスクトップ ポータル**は、エンド ユーザーがデスクトップと公開アプリにアクセスするための主要 Web インターフェイスです。このインターフェイスは、RDP を介したアクセスを提供することができ、インストール済みの VMware Horizon View クライアントを立ち上げるか、または HTML5 を介したブラウザ ベースのアクセスを提供することができます。ユーザーは、デスクトップやアプリにアクセスするためにポータルを使用することを要求されず、Windows、MAC、Linux、iOS、Android 上でサポートされている VMware Horizon View クライアントにより、様々なゼロ クライアントを通じてこれを行うことができます。

VMware はまた、プログラム リソース管理のための Horizon Air Application Programming Interface (API) へのアクセスを組織管理者に提供します。

1.2 追加情報

技術文書およびトレーニング

使用例と共にキー コンセプトを概説したオンライン ヘルプ、キー オブジェクトのための「入門」ガイドおよび「操作手順」ガイドが、コンソールを通じて入手できます。

リーガル条件

Horizon Air の使用は、www.vmware.com/download/eula/horizon-air-terms-of-service.html に記載されている使用条件が適用されます。

2. サービス業務

以下では、Horizon Air を提供する際の VMware の役割および責任を概説しています。特定の役割および責任はまた、お客様が負うものとして識別されていますが、本書に記載されていない役割または責任は、サービスに関して履行されず、またはお客様が責任を負うことはありません。

2.1 サービス サポート

VMware Horizon Air は、Horizon Air に関して、採用を支援するために、お客様がアカウント、デスクトップ / アプリケーションの可用性、選択した追加サービスに関して報告する問題のサポートを含みます。サポートは、VMware のサポート義務を履行するために適宜、米国人および非米国人の両方により提供されることがあります。

2.2 サービス プロビジョニング

VMware は、以下のプロビジョニング サービスを提供します。

- 契約したリソース プールをサポートするために必要とされるサービス コンポーネントの実装（物理サーバ、物理ストレージ、物理ネットワーク デバイス）
- デフォルトのパブリック IP アドレスなどの初期ネットワーク リソースの提供
- デスクトップ モデルの初期または予約容量リソース（メモリ、プロセッシング、プライマリ ストレージ、ネットワークング） およびホスト型アプリ サーバの提供
- Horizon Air ネットワークから（お客様の法人ネットワークへ）の VPN または MPLS を介した安全な 2 点間ネットワークの相互接続（別名バックホール）を可能にすること。MPLS はお客様の ISP とは別に購入されることに留意してください。MPLS 直接接続は追加の月額料金が発生します。
- 現行のゴールド パターン カタログからの 10 のスタンダード VMware 認可ゴールド パターンの提供
- セルフ サービス トレーニング ビデオへのアクセスの提供
- 2 時間の管理コンソールおよびデスクトップ ポータル ウォークスルーの提供

お客様は、以下のプロビジョニング サービスについて責任を負います。

- 拠点間の連続性を確立するための法人リソース支援の提供
- Active Directory ドメイン バインドの実施
- お客様のゴールド パターン テンプレートのカスタマイズ
- デスクトップ、セッション、アプリケーション プールの作成およびユーザーへの割り当て
- Windows Client OS ライセンス（該当する場合、またその場合は適用されるライセンス契約の遵守）
- ゴールド パターン テンプレートまたは展開された仮想マシンへのカスタムまたはサードパーティ アプリケーションおよびオペレーティング システムのインストールおよび構成

2.3 ディザスタ回避およびディザスタ リカバリ

VMware は、ディザスタ回避およびディザスタ リカバリに関して以下のサービスを提供します。

- Horizon Air インフラストラクチャのための日常的バックアップなどのデータ保護（VMware が所有および運営する管理およびユーザー管理インターフェイスなど）
- Horizon Air インフラストラクチャのためのデータおよびインフラストラクチャ復元（VMware が所有および運営する管理およびユーザー管理インターフェイスなど）

お客様は、ディザスタ回避およびディザスタ リカバリに関して以下のサービスについて責任を負います。

- Horizon Air VM またはストレージ デバイスにアクセスまたは保存されたデータおよびコンテンツのための日常的なバックアップなどのデータ保護、構成設定等
- お客様の Horizon Air アカウントにアクセスまたは保存された資産に関するデータ、コンテンツ、VM、構成の復元

2.4 監視

VMware は、監視に関して以下のサービスを提供します。

- Horizon Air インフラストラクチャ、インフラストラクチャ ネットワーク、トップ レイヤー管理およびユーザー管理インターフェイス、コンピュータ処理、ストレージ、ネットワーク ハードウェアの可用性、容量およびパフォーマンスの監視。VMware はまた、デスクトップ モデル割当の利用およびデスクトップの状態についてのサービス サマリー レベルの見解をお客様に提供します。

お客様は、監視に関して以下のサービスについて責任を負います。

- お客様の Horizon Air アカウント内で展開または管理されている資産の監視（仮想マシン、オペレーティングシステム、アプリケーション、MPLS / VPN、またはアプリケーションの脆弱性等）

2.5 インシデントおよび問題管理

VMware は、以下に関するインシデントおよび問題管理サービス（例えば、検知、重要度分類、記録、上申、サービス再開など）を提供します。

- Horizon Air サーバ、ストレージ、ネットワーク デバイスなど、VMware が直接、管理的および / または物理的なアクセスおよび制御を有するインフラストラクチャ
- VMware がサービス提供の際に使用する Horizon Air Console など、VMware がお客様が提供した管理的なアクセスおよび制御を有するサービス ソフトウェア
- 以下の場合の VMware が提供したオペレーティング システム テンプレート
 - 公表されたテンプレートにアクセスできない
 - 公表されたテンプレートが、変更なしにプロビジョニングに使用できない
 - 公表されたテンプレートが、最初の起動時にエラーを起こす
 - テンプレート検索の際に大幅な停止または過剰な遅延が生じる
 - 公表されたテンプレートの構成が仮想マシンとハイパーバイザの相互運用に影響を与える
 - 時刻同期問題（NTP）がある

お客様は、以下に関するインシデントおよび問題管理（例えば、検知、重要度分類、記録、上申、サービス再開など）について責任を負います。

- 当社の管理の下でのお客様のアカウント設定（ドメイン、2 つのファクターの認証）
- VM、カスタム開発またはサードパーティ アプリケーション、カスタムまたはユーザー展開オペレーティングシステム、ネットワーク構成設定およびユーザー アカウントなど、ユーザーが展開および構成した資産
- オペレーティング システム自体またはそれに含まれる機能もしくはコンポーネントなどのオペレーティング システム管理
- VPN 統合
- ユーザー展開 VM、カスタムもしくはサードパーティ アプリケーション、お客様のデータベース、お客様がインポートもしくはカスタマイズしたオペレーティング システム、または Horizon Air Console、Horizon Air デスクトップ ポータルもしくは Horizon Air サービスとは無関係のお客様が展開および管理するその他の資産のパフォーマンス
- VMware オペレーションの直接の支配下および管理下でないその他のもの

2.6 変更管理

VMware は、以下の変更管理要素を提供します。

- Horizon Air 管理コンソール、または Horizon Air サービス コンポーネントの健全性および可用性を維持するための手続きおよび手順。 メンテナンスの詳細については VMware Horizon Air サービス レベル アグリーメントをご覧ください。
- Horizon Air 管理コンソール、または Horizon Air サービス コンポーネントに関連する新コード バージョン、ホット フィックスおよびサービス パックをリリースする手続きおよび手順

お客様は以下について責任を負います。

- お客様の VM、オペレーティング システム、カスタムまたはサードパーティ アプリケーションの変更の管理、およびお客様の制御の範囲内の一般ネットワーク変更の管理
- お客様に付与される最高の許可水準までの VMware および Horizon Air ユーザー コンソールを通じて提供されるセルフ サービス機能の管理。 VM およびドメイン機能、バックアップ管理、および一般アカウント管理等を含みますがそれらに限定されるものではありません。
- 定期および緊急メンテナンスが要求される際の協力

2.7 セキュリティ

Horizon Air のエンド ツー エンド セキュリティは、VMware とお客様との間で共有されます。 VMware は、単独の物理的、論理的および管理レベルの制御を有する側面のサービスに対するセキュリティを提供します。お客様は、管理レベルのアクセスまたは制御を有する側面のサービスについて責任を負います。 VMware とお客様との間の責任の主な領域は以下に概説しています。

VMware は以下を提供するために商業上合理的な努力をします。

- **物理セキュリティ:** VMware は、物理的なセキュリティ侵害から Horizon Air を収容しているデータセンターを保護します。
- **情報セキュリティ:** VMware は、単独の管理レベルの制御を有する Horizon Air を提供するために使用される情報システムを保護します。
- **ネットワーク セキュリティ:** VMware は、お客様がネットワークを変更するために制御、許可またはアクセスを有する時点までの情報システムを含んだネットワークを保護します。
- **セキュリティ監視:** VMware は、単独の管理レベルの制御を有する Horizon Air を提供するために使用される基盤インフラストラクチャ サーバ、ストレージ、ネットワーク、情報システムに関わるセキュリティ イベントを監視します。 この責任は、お客様が本サービス提供の側面を変更するために制御、許可またはアクセスを有した時点で停止します。
- **パッチングおよび脆弱性管理:** VMware は、対象システムにとって重大とみなされるパッチの適用など、本サービスを行うために使用するシステムを維持します。 VMware は、本サービス提供を行うために使用するシステムの重大なリスク領域を浮上させるために日常的な脆弱性検査を実施します。 重大な脆弱性は適時に対処されます。

お客様は以下に対応しなければなりません。

- **情報セキュリティ:** お客様は、Horizon Air 上で展開および / またはアクセスする情報システム、データ、コンテンツまたはアプリケーションの十分な保護を確保することに責任を負います。 これは、あらゆるレベルのパッチング、セキュリティ フィックス、データ暗号化、アクセス制御、お客様の内部、外部またはサードパーティ ユーザー等に付与された役割および許可等を含みます。
- **ネットワーク セキュリティ:** お客様は、管理レベルの制御を有するネットワークのセキュリティについて責任を負います。 これは、有効なファイアウォール ルールの維持、事業を営むためのみに必要な通信ポートの開放、無差別アクセスのロックダウン等を含みます。

- **セキュリティ監視:** お客様は、脆弱性検査ツールを通じて浮上した、またはお客様が参加するように求められる、別の VMware セキュリティ プログラムの下でサービスが提供されないコンプライアンスもしくは認証プログラムのために要求される VM、オペレーティング システム、アプリケーション、データまたはコンテンツに関連する、お客様の Horizon Air アカウントにより分離されたすべてのセキュリティ イベントの検知、分類、修復について責任を負います。
- **侵害されたデスクトップ:** お客様は、侵害されたデスクトップおよび関連する問題の解決について責任を負います。VMware のインフラストラクチャおよび事業活動を保護するために、侵害されたデスクトップが検出された場合、VMware は、デスクトップまたはカスタマー アカウント全体を停止する権利を留保します。

2.8 ゴールド パターン テンプレート

VMware は、お客様がお客様の Horizon Air 環境で展開することができる、サポート対象である仮想デスクトップ ゴールド パターン テンプレートのカタログを提供します。このテンプレートの展開および使用は、www.vmware.com/files/pdf/support/horizon-air-third-party-terms.pdf に所在するサードパーティ条件に従い、本サービス説明書付録 A に詳しく記載される追加のソフトウェア サブスクリプション料金が課されます。VMware は、これらのテンプレートを提供し、品質をテストし、ウィルスをチェックし、セキュリティ パッチをインストールし、その後 管理コンソールに登録します。VMware はまた、これらのテンプレートを随時、保守し、更新します。お客様は、お客様が使用することを選択した仮想デスクトップ ゴールド パターン テンプレートの展開および構成、関連ライセンスの有効化ならびに当該ライセンス条件の遵守について責任を負います。

サードパーティ ライセンサーに対する VMware の法的義務を遵守するために、お客様による、本サービス提供以外のインストールまたは使用のために特定のテンプレートまたはインストールされた形式の特定のテンプレートのエクスポート、ダウンロードまたは削除は認められません。デスクトップ ゴールド パターン テンプレートのライセンスに関する詳細については、www.vmware.com/files/pdf/support/horizon-air-third-party-terms.pdf に所在するサードパーティ条件をご覧ください。

お客様は、自身のゴールド パターン テンプレートに含まれるソフトウェアを展開および使用する法的権利を有する限り、当該テンプレートを実装またはインポートすることができます。

VMware が提供した、頻繁に使用される、旧式のまたはもはやサポートされていないテンプレートはいつでも削除することができます。

2.9 テンプレート アップロード

Horizon Air は、テンプレート アップロードをサポートします。すべてのテンプレートは、オープン仮想マシンフォーマット (OVF) を使用しなければなりません。移行が完了すると、VMware は、受領したテンプレートをカスタマー アカウントに登録し、以後、それはゴールド パターン テンプレートとして使用可能になります。

3. 事業活動

本項では VMware Horizon Air の注文、スケーリング、更新、中断及び終了の各プロセスについて要約します。

3.1 注文及び請求

サブスクリプションの注文

- 初注文には、コアのデスクトップおよびホスト型アプリ容量、予約容量、サポート、IP アドレスおよびシングル サービス インスタンスのインターネット帯域幅コンポーネント（「サービス識別子」または SID）が含まれていますが、これらについては付録 A にさらに詳しく記載されています。初購入によりデフォルトの請求関係が定められ、契約期間中のその SID の全ての取引に適用されます。例えば、初注文が VMware 公認のリセラーを介して行われた場合、デフォルトでは、そのサービス識別子に関するその後の支払は当該リセラーを介して行われます。この請求関係は更新時に変更できます。
- サービス提供を注文する際には、お客様は、Horizon Air オペレーション チームによりお客様に提供される詳細なプロビジョニング質問票に記入するように要求されます。この情報は、注文を頂いた環境の設定に必要となります。お客様は、注文書の提出日から 10 日以内に、同質問書への記入を完了させ、Horizon Air オペレーション チームに返送しなければなりません。サービス期間ならびに請求可能期間は、(i) サービスが提供された日、もしくは (ii) 注文日から 60 日後のいずれか早期に到来する日から始まります（サービス提供質問票への記入を完了したかどうかとは関係ありません。）。記入し終えた質問票を提出しない場合、Horizon Air オペレーションは商的に合理的な形で同注文をセットアップします。その場合、サービス期間は開始後から 1 年で終了し、延長されません。VMware は、独自の裁量により、請求期間の開始遅延を選択することができます。
- 追加容量は、初注文時または初注文後いつでも購入できます。
- 予約容量の一部または全部の有効化は、重要度 1 優先事項として VMware サポートに連絡し、「予約容量の有効化」を要請することで行うことができます。使用予約容量の請求は、履行完了後の最初の 1 日から開始します。使用予約容量の最低請求期間は請求開始から 7 日間です。
- 予約容量の一部または全部の無効化は、VMware サポートに連絡することで行うことができます。無効化予約容量の請求は、要請が受領された後の最初の 1 日から停止します。
- 予約容量は、注文に関して履行完了通知が伝達された場合に限り、有効化することができます。
- 追加ハード ディスク ストレージなどの追加サービスは、初注文と共に、または My VMware ポータルを介してサブスクリプション期間中いつでも購入できます。当該追加サービスには追加の条件及び料金が適用されます。
- 容量に関しては、契約期間末までであればいつでも容量またはサービスの追加を注文することによりアカウントの変更ができます。
- SID に付随した VMware 公認リセラーを変更する場合には、以下のように更新時に VMware に連絡して行うことが可能です。
- サービスは、更新時に VMware との調整により縮小させることが可能で、その縮小後のサービス提供の容量に応じて新たに注文をすることが必要となります。ただし、お客様の縮小後のサービス提供の注文に付随する容量がお客様のその時点の作業に必要なとされる容量に満たない場合、VMware は、お客様がその超過容量を解除し、VMware が再請求するまで、超過容量についてその時点のレートでお客様に請求します。縮小注文は、少なくとも更新日から 30 日以内に VMware に提出しなければなりません。12 か月未満の契約期間に基づくまたはオンデマンド サービスに基づく縮小注文は、少なくとも更新日から 5 日以内に VMware に提出しなければなりません。

請求

- お客様が直接 VMware からサービス提供を購入される場合、VMware は、各請求期間が始まってから 30 営業日以内に注文された全サービスについて請求します。お客様が VMware 公認リセラーを介してサービス提供を購入される場合、リセラーは、お客様とそのリセラーの間で交わした相互合意に基づき、お客様に請求します。
- プラン料金は、付録 A に定められているように、その時点の請求期間に応じて VMware により請求されます。ただし、お客様が前払サービス提供の SKU を選ばれた場合は例外とし、注文されたサブスクリプション期間について請求されます。サービス提供が請求期間全体について提供されない場合、当該期間の料金は、(a) サービス提供が最初に提供された日から請求期間末まで、または (b) 請求期間の開始から請求期間内のサービス提供の最終日まで、それぞれに応じて比例配分されます。
- 利用料金は、付録 A に定められているように、利用された請求期間後の次の請求日に VMware により請求されます。お客様の SID が請求日の 5 日以内に設定された場合、お客様は、利用料金の最初の請求書を SID 設定後の第 2 請求日まで受け取らないことになります。

3.2 メーター制の使用

- 使用予約容量などの**メーター制使用**コンポーネントは、サービス期間中を通じていつでも消費することができます。お客様は、そのメーター制使用のコンポーネントに対して、サービス提供を直接 VMware から購入した場合、契約レートまたは VMware が公表するその時点のレートのいずれか小さい方で支払うか、またはサービス提供を VMware 公認リセラーを介して購入した場合、そのリセラーと合意したレートで支払わなくてはなりません。この料金は、VMware により利用料金として請求されます。メーター制使用コンポーネントのリストは付録 A に提供されています。

3.3 アドオン容量

- 上記のアドオン容量（追加デスクトップ、ホスト型アプリサーバ、ストレージなど）及びサービスは、新規あるいは拡張された要求に合わせていつでも購入できます。
 - 追加デスクトップ、ストレージ、予約容量は、My VMware ポータルを介して、あるいは注文を通じて追加することができます。
 - アドオン容量またはサービスの期間は、SID のコア サブスクリプション期間と同じ時期に終了するように設定されます。
 - アドオン デスクトップ容量がお客様にさらに容量の階層を上げさせる場合、SID の残りの期間にユニットごとの価格引下げが月次請求に対して適用されます。前払サブスクリプションの場合、容量の階層が上がることによるユニットごとの価格引下げの払戻しはありません。ユニットごとの価格引下げは、容量の階層が上がった後で追加された月次及び前払サブスクリプションの双方のアドオンデスクトップ容量に適用されます。

3.4 更新

VMware は、サブスクリプション期間終了に際し、SID を更新しない権利を留保します。VMware が更新しない場合、当社は、お客様にサブスクリプション期限の終了の 30 日前に通知します。各 SID の更新オプションは、My VMware の管理ポータルを使用して選択できます。更新オプションには以下のものが含まれます。

自動更新（デフォルト設定）

本第 3.3 条の規定を除き、各 SID は、現在の構成及び現行の発注期間を使用して自動的に更新します。その時点の SKU 及び価格は、適用価格表に基づいて、その更新期間に適用されます。お客様は、<http://my.vmware.com> の My VMware のポータル内で SID の更新オプションの設定を変更することにより自動更新を中止することができます。更新オプションの変更の最終期日は、現行の SID サブスクリプション期間の最終日の 30 日前です。

期間末にサブスクリプション サービスの変更

このオプションを選択すると、お客様は、SID 期間が終わる前に通知を受け、お客様の更新オプションについて協議します。お客様は、<http://my.vmware.com> の My VMware のポータル内で SID の設定を変更することおよび新たな発注書を発行することの両方により、サービス提供の構成を変更したり、また該当する場合、お客様のリセラー関係を変更したりすることもできます。お客様が下記に記載する該当する最終期日までに現在の SID を変更しない場合、または新規サービス提供の発注書を新たに VMware または該当する場合、お客様の VMware 公認リセラーに発行しない場合、あるいはその両方の場合、お客様の現行の SID は現在の構成のままで、VMware またはお客様の既存のリセラーと自動更新を行います。お客様がサービス提供を VMware 公認リセラーを通じて購入した場合、手動による更新が、お客様がその特定の SID のリセラー関係を選べる唯一の方法となります。更新オプションの変更の最終期日は、現行の SID サブスクリプション期間の最終日の 30 日前です。

期間満了における終了

お客様は、My VMware のポータル内 (<http://my.vmware.com>) で SID の設定を変更することで、現行の SID 更新を終了することができます。このオプションが設定されると、お客様のサービス提供へのアクセスは SID 期間満了時に終了します。終了オプションを選択する最終期日は、現行の SID サブスクリプション期間の最終日から 30 日前です。

3.5 停止及び再使用可能性

- 支払遅延またはサービス条件に定めるその他の理由により SID が VMware によって停止されている間、VMware はすべての SID へのアクセスを制限し、SID のパブリック IP アドレス上のすべてのトラフィックを遮断します。VMware は、問題が解決されるまで、またはサービスが終了するか解除されるまで、SID を構成およびデータをそのままにして保持します。
- SID の再使用可能性は、停止に及んだアカウントの問題が解決次第直ちに開始され、サービス提供へのアクセス及び IP アドレス上のトラフィックが復旧されます。

3.6 契約解除

- 契約の期間満了、解除、取消またはその他の理由による SID の完全な終了により、結果として当該環境へのアクセスの永久喪失、アカウント サービスの中断並びに VMware 社内のデータ保存方針に従った当該環境、構成及びデータの削除が行われます。
- 終了した SID からのデータは、当該 SID の契約終了日後、VMware により保持されることはありません。

3.7 契約の中途解除

- Horizon Air の当初期間が 12 か月以上の月次払いのサブスクリプションは、中途解除の対象となります。Horizon Air の当初期間が 24 か月以上の年次払いサブスクリプションは、中途解除の対象となります。前払サブスクリプションは対象とはなりません。アドオンは、月次払いの基本サブスクリプションが終了する場合のみ対象となります。その終了は、サブスクリプション期間の最初の 3 か月が過ぎ、VMware に事前の通知をしてからのみ有効となります。お客様は、有効な終了日現在の残余サブスクリプション期間について、12 か月の期間ごと（またはその一部）にサブスクリプション料金の 1 か月に相当する料金（アドオン料金も含む）も支払わなければなりません。

例：

有効な終了日現在、 残余サブスクリプション 期間（月）	中途解除手数料総額	対象プラン
12 か月未満	契約サブスクリプション料金の 1 か月に相当する料金 (アドオン料金も含む)	月次払い
12 か月から 24 か月未満	契約サブスクリプション料金の 2 か月に相当する料金 (アドオン料金も含む)	月次払い 年次払い
24 か月から 36 か月未満	契約サブスクリプション料金の 3 か月に相当する料金 (アドオン料金も含む)	月次払い 年次払い

- お客様が終了を希望する SID に必要な通知をする場合、My VMware ポータル (<http://my.vmware.com>) のサポート リクエストに記入し、VMware Global Support and Services チームに連絡してください。
- お客様は 30 日から 60 日前に事前通知をしなければなりません。終了（お客様の SID の最終有効日）は、お客様の次回サブスクリプション請求期間の最終日に有効となります。
 - 例えば、お客様のサブスクリプション請求期間が毎月 15 日に終了する場合（お客様の請求日と違う可能性もありますので、ご注意ください）、5 月 15 日まで有効の SID を 終了するためのお客様の当社への通知は 4 月 15 日までとなり、4 月 16 日に通知されると、SID は 6 月 15 日に終了されます。

付録 A - 注文及びメーター制使用のコンポーネント

本サービス説明書の本付録 A では、当初またはその後の注文を通じて顧客が購入する可能性のあるコンポーネント及び利用実態に基づいて請求されるコンポーネントについて要約します。

定義:

「帯域幅」とは、VMware のインターネット サービス プロバイダを使用し、お客様の Horizon Air から公共のインターネットをつなぐネットワーク接続性をいいます。帯域幅は、以下に定義するように増量しながら注文されます。帯域幅は、データがお客様の購入したサービス クラスにより送受信されたときに消費されます。

「請求日」とは、VMware が当該サービス提供について定期的に請求する日をいいます。請求日は、別途の表示がなければ、月次が発生します。

「請求期間」とは、サービス提供が請求されている期間をいいます。請求期間は、別途の指示がなければ、月次でお客様の SID のサービスの提供方法に関連します。

「デスクトップ モデル」とは、デスクトップとしてインスタンス化できるコンピュータ処理、メモリ、ストレージ、帯域幅容量の集合を指します。コア注文は、以下に定義される特定のデスクトップ モデルの数量で構成されます。

「コア コンポーネント」とは、10 つのゴールド パターン テンプレート向けパブリック IP アドレス及びサポート、ストレージを含むデスクトップ モデルをいいます。

「ゴールド パターン テンプレート」とは、管理コンソールで変更することができるマスター ゴールド パターンを指し、仮想デスクトップを作成するために使用されます。

「IP アドレス」は、公共のインターネットから接続性を供給するために用いられます。

「メーター制使用のコンポーネント」とは、利用実態に基づいて請求されるサービス提供の要素です。メーター制使用のコンポーネントは 使用デスクトップで予約されます。

「プラン料金」とは、使用量に基づいて請求されない（つまり、お客様が購入を約束し、使用の如何にかかわらず、サブスクリプション期間中繰り返されるコンポーネント）、それらのサービス提供のコンポーネントです。この料金は本サービス説明書の第 3.1 条の定めに従い、その時点の請求期間について
3.1 請求されます。

「予約容量」とは、特定の購入プランにより規定される指定の時間枠内に提供される特定のデスクトップ モデル容量の SLA 保証をいいます。

「使用予約デスクトップ」とは、期間中にお客様により有効化された履行されたデスクトップ モデル容量をいいます。使用デスクトップは少なくとも 7 日間有効でなければなりません。

「ストレージ」とは、お客様の購入のサービスの種類によってお客様の使用可能となるブロック レベル VM 容量を意味します。ストレージは、以下に定義するように増量しながら注文されます。ストレージ使用は、コア オペレーティング システムおよびアプリケーションのみを目的とします。

「サブスクリプション ソフトウェア」とは、お客様に提供され、その使用について請求されるすべてのソフトウェアをいいます。

「サポート」とは、本サービス説明書の第 2.2 条及び第 2.7 条の定めに従い、VMware が届けるサービスをいいます。

「サードパーティ ライセンス」とは、サードパーティ ソフトウェアのライセンスを意味し、それらのライセンスは、サービス オプション（いずれもサービス カタログ他を介して）としてお客様に利用可能なものです。

「使用料金」とは、使用量に基づいて請求されるサービス提供のコンポーネントをいいます。この料金は、本サービス説明書の第 3.1 条の定めに従い、後払いで請求されます。

コア コンポーネントの注文

コア コンポーネントは、特定のサブスクリプション期間に対して注文を受け付けます。コンポーネントごとに請求され、月単位に支払われますが、前払サービス提供を注文される場合、一括払の請求および支払となります。各データセンター拠点につき、少なくとも 1 つのスターター パックを注文しなければなりません。ゲスト VM 互換性の詳細については付録 C をご覧ください。

各コア提供は以下の標準オプションがついています。

- IP アドレス: 管理コンソールおよび Desktop Portals/Broker にアクセスするための 1 パブリック IP アドレス
- 帯域幅: 各アカウントには、注文したデスクトップ モデルからの合計としてデスクトップのピーク時帯域幅の和に等しい帯域幅総量が提供されます¹。平均予想帯域幅もクライアント側の計画目的で各モデルごとに列記されます。
- サポート 年中無休のプロダクション サポート

スタンダード デスクトップ コア

下記の仕様で Windows Client または Windows Server OS を稼働させることができる 50 デスクトップ:

- vCPU: 1 vCPU
- vRAM: 2 GB
- vHD: 30 GB
- IOPS: 20
- 帯域幅: 100 Kbps
- ピーク時帯域幅: 500 Kbps
- Soft3D 提供: 無
- ワークロード タイプ: VDI

アドバンスト デスクトップ コア

下記の仕様で Windows Client または Windows Server OS を稼働させることができる 50 デスクトップ:

- vCPU: 2 vCPU
- vRAM: 4 GB
- vHD: 60 GB
- IOPS: 40
- 平均帯域幅: 500 Kbps
- ピーク時帯域幅: 2000 Kbps
- Soft3D 提供: 有
- ワークロード タイプ: VDI

エンタープライズ プラス デスクトップ コア

下記の仕様で Windows Client または Windows Server OS を稼働させることができる 50 デスクトップ:

- vCPU: 4 vCPU
- vRAM: 8 GB
- vHD: 120 GB
- IOPS: 80
- 平均帯域幅: 500 Kbps

¹ 例: 50 スタンダード デスクトップと 50 アドバンスト デスクトップを持つアカウントは、すべてのアカウントのデスクトップで利用可能な帯域幅総量 125 Mbps を有することになります。

- ピーク時帯域幅： 2000 Kbps
- Soft3D 提供： 有
- ワークロード タイプ： VDI

エンタープライズ プラス デスクトップ コア

下記の仕様で Windows Client または Windows Server OS を稼働させることができる 12 のデスクトップ：

- vCPU： 8 vCPU
- vRAM： 16 GB
- vHD： 240 GB
- IOPS： 160
- 平均帯域幅： 1000 Kbps
- ピーク時帯域幅： 4000 Kbps
- Soft3D 提供： 有
- ワークロード タイプ： VDI

ホスト型アプリ サーバ コア

下記の仕様で RDSH により Windows Server OS を稼働させることができる 12 サーバ：

- vCPU： 8 vCPU
- vRAM： 16 GB
- vHD： 240 GB
- IOPS： 160
- 平均帯域幅： 1000 Kbps
- ピーク時帯域幅： 4000 Kbps
- Soft3D 提供： 無
- ワークロード タイプ： ターミナル サービス公開デスクトップ & アプリ

サービス向上およびパフォーマンス調整のため、VMware は、購入されたホスト型アプリ サーバの総容量が本書の仕様以上になる限りにおいて、ホスト型アプリ サーバの仕様および数量を変更する権利を留保します。 RDSH サーバの旧仕様の設定を行ったお客様の場合、単一のテナント状況において混在する RDSH サーバ仕様はサポートされておりませんので、新仕様利用のためのプール再築を行う必要があります。すでに廃止された仕様で設定されていても、同等のリソース（計算、メモリ、ストレージ）を購入されているお客様の場合には、新仕様の SKU を購入し、旧仕様の設定を行うことは可能です。

注： Soft3D は、互換性のあるゲスト OS バージョンとの併用以外には、使用できない場合もあります。

手数料及び料金

お客様が直接 VMware に注文される場合、VMware は、その時点で適用される VMware の価格リストに記載の料金、または発注書に記載の別途料金を、VMware との合意に基づいてお客様に請求します。お客様が VMware 公認リセラーに注文する場合、当該リセラーが、その価格リストまたは別途のお客様との合意に基づいて請求します。

現在の SID にサービスまたは容量を追加する注文は、その SID が予約された方法に基づいて VMware またはリセラーから発注され、SID サブスクリプション期間の終了まで、共通の条件に従います。特に、リセラーが既にお客様に SID について請求をしている場合、かかる追加のサービスまたは容量についてはそのリセラーを通じて発注され、お客様が支払を同意した価格および他の当該条件は、そのリセラーとの合意に基づきます。

使用制限

Horizon Air VM は、デスクトップおよびターミナル サービス アプリケーションとの使用を目的としています。特別な例外が、VM インスタンスをユーティリティ サーバ（ドメイン コントローラー、Active Directory サーバ、DHCP リレーまたはファイル サーバなど）として使用することを希望するお客様のために規定されています。テナントの 1 VM は、購入したデスクトップ割当から取り崩すことなく、ユーティリティ サーバとして使用することができます。追加ユーティリティ サーバは、購入した VM 合計からデスクトップの全体数で表示されるユーティリティ サーバのために消費した CPU とメモリ リソース合計を差し引くことにより、購入したデスクトップ割当に加算されます。

アプリケーションまたは取引アプリケーションに基づくサーバの使用はサポートされず、パフォーマンスおよびユーザー エクスペリエンスを妨げることがあります。暗号化ハード ディスクは Horizon Air VM 環境内で認められていません。安全なディスク サービスを必要とするお客様は、ユーザー データをそれぞれのデータセンターへ転送することを検討すべきであり、または vCloud Air 仮想プライベート クラウド インスタンスを購入し、ユーザー データのために暗号化ファイル サーバを展開することができます。

お客様による負荷テスト（自動もしくは手動のログイン ストレス テストなど）は、VMware からの許可と VMware との調整なしに行うことは禁じられています。このようなテストの実行をご希望のお客様は、サポート チケットを提出し、パフォーマンスやユーザー エクスペリエンスでの支障を最小限に抑えるため、Horizon Air 運用チームとのテスト計画を調整するよう、お願いいたします。

付録 B - Horizon Air に含まれる個別購入可能な品目の概要

Horizon Air に含まれるもの：

- デスクトップ、ホスト型アプリ サーバ、仮想マシンのイメージ向けインフラストラクチャ（注文した SKU に基づく）
- アカウントごとの 10 のスタンダード VMware ゴールド パターン テンプレート
 - Microsoft Windows7、Windows8.1、Windows 10、Windows Server 2008 R2、Windows Server 2012 R2 から選択
- アカウント設定時の管理コンソールのワンタイム ウォークスルー（2 時間）
- オプション：
 - SKU：
 - デスクトップまたは仮想マシンのイメージ使用のための 1 TB 増量の追加ストレージ
 - MPLS ブリッジングのための直接接続
 - 含まれるサービス：
 - ユーティリティ サーバ（ドメイン コントローラー、DHCP リレーまたはファイル サーバなど）として機能する 1 VM
 - 追加ユーティリティ サーバを作成することができますが、ユーティリティ サーバにより使用される vCPU/メモリの合計数量に等しいデスクトップ割当を消費します。
 - Horizon Air データセンター拠点設定ごとのワンタイム VPN およびネットワーク構成

VMware プロフェッショナル サービスより個別購入可能であるが、Horizon Air コアおよびアドオン SKU に含まれていないもの：

- オンボーディング サービス
 - アドバンスド オンボーディング アシスタンス（SKU：CON-HZAIR-ADVON）
 - PoC の実施および最大 50 までのエンド ユーザーの本番環境へのデプロイメントを行った証拠のために推奨される
 - Horizon Air プロダクション インテグレーション / デプロイメント サービス（PSO 個別見積もり）
 - PoC の実施および 200 ~ 2000 のエンド ユーザーの本番環境へのデプロイメントを行った証拠のために推奨される

- プロジェクト管理
- 使用事例評価 & 定義
- デスクトップ エンジニアリングおよび仮想マシンのイメージ管理
- 各種のプロフェッショナル サービス要請

サービス設定を完了するために要求されるサードパーティから購入可能なもの：

- お客様から VMware データセンターへの MPLS サービス
- データセンター内の Horizon Air への直接接続設定

付録 C - Horizon Air ゲスト OS 互換性表

Horizon Air は、Horizon Air 内にホストされている仮想マシン上での下記の Windows オペレーティング システムの使用をサポートしています。

オペレーティングシステム	パッチ/SP	32/64 ビット	追加のバリエーション/仕様	VDI/RDSH
Win 7	ベース / SP1	両方	プロフェッショナル / エンタープライズ	VDI
Win 8.1		64 ビットのみ	プロフェッショナル / エンタープライズ	VDI
Windows 10		64 ビットのみ	プロフェッショナル / エンタープライズ	VDI
Win Server 2008 R2	SP1	64 ビットのみ	データセンター エディション	両方
Win Server 2012 R2		64 ビットのみ	スタンダード、データセンター	両方

サポートされている言語は、英語と日本語です。サポートされている言語パックはフランス語、フランス語（カナダ）、ドイツ語です。

付録 D - Microsoft ライセンス推奨事項

下記は推奨事項にすぎません。お客様の Microsoft ライセンス ディストリビューターにライセンス要件および制限を確認してください。

Horizon Air は、Horizon Air ソリューションの十分な使用に要求されるゲスト OS ライセンスを提供していません。Horizon Air デスクトップおよびホスト型アプリ サーバを稼働させるためのすべての必要な Microsoft ライセンスは、お客様の選好する Microsoft ライセンス ディストリビューターから入手可能です。

Microsoft Windows 7 および 8.x OS がライセンスされたゲスト VM は、Microsoft 仮想デスクトップ アクセス (VDA) サブスクリプション ライセンスまたは Microsoft の Windows 向けソフトウェア保証を必要とします。

Windows Server VM は、Windows Server OS ライセンスを使用しなければなりません。お客様は、120 スタンダード デスクトップ、60 アドバンスド デスクトップ、30 エンタープライズ デスクトップ、15 のエンタープライズ プラス デスクトップ、または 15 ホスト型アプリ サーバごとに 2 プロセッサ向けの 1 Windows Server データセンター エディションを導入することが推奨されます。さらに、お客様は、Windows Server VDI VM またはホスト型アプリ サーバにアクセスする各ユーザーごとに 1 リモート デスクトップ サービス (RDS) カスタマー アクセス ライセンス (CAL) を導入することが要求されます。

Horizon Air サポート対象ハードウェアと Microsoft ライセンス ポリシーは一定期間にわたり変更することがありますので、最新の推奨事項については Horizon Air カスタマー サービスに確認するようお願いいたします。